



TOP MESSAGE

GM通信 7月12日(土)はプログラミング発表会

バディグローバルスクールでは英語、IT（プログラミング）、金融、体験学習（自然科学・農業実習）そしてスポーツを柱としてカリキュラムを作っています。しかし今回は英語ではなく日本語を母語としてもつことの意味について書いてみようと思います。

日本語はSOV型、つまり主語＋目的語＋動詞の順番で並び文章を構成していきます。これはSVO型の英語、スペイン語、イタリア語、中国語等とは明らかに違います。動詞が最後に来るので聞き手は最後まで聞かないと話し手の意図がわかりません。

英語では例えばI eat lunch.となりますが、日本語では「私は昼食を食べます。」となります。日本語では最後まで食べるのか食べないのか自分の意思を保留しています。

かつて欧米の言語学者の多くが日本語は回りくどくて非効率的で論理的思考には向かないとの評価をしていたそうです。確かに英語は直線的に意図や意思を伝えることができます。これに対し日本語は動詞が最後に来ることによって話し手に「配慮すること」を聞き手に「待つこと」を促します。ですから日本語は日本人に最後まで聞く習慣を身に付けさせたのです。SVO型言語は討論に向き、日本語などのSOV型言語は対話に向いているとも言えます。

私も含めて日本人は、相手が誰なのか、場がどのような雰囲気なのか、言うべきか、言わない方がいいのかをまず考えます。これは私に限らず日本人の習慣と言えるものです。日本語の語順は日本人にこのような相手に配慮する姿勢を育んだのです。

ある欧米の言語学者は「日本語は話す力ではなく聞く力を鍛える言語である」と言い、また別の学者は「日本語を話すようになって自分の中に沈黙を尊重する感覚が芽生えた」と言ったそうです。

私はここで聖徳太子の言葉「和を以て貴しとなす」を思い浮かべました。これはシンプルに「皆で仲良くすることが大切だ」との意味です。皆に調和することの大切さを教えた言葉です。しかしこの言葉には、自分の主張を繰り返すばかりではなく、異なる意見や立場の人が互いに尊重し、協力して物事を進めていくことが大切だという意味も含まれています。私はそう解釈しています。相手を尊重するためには、一度立ち止まって考えなければなりません。自分の主張を脇に置いて、まず相手の主張や立場について考慮する時間が必要になります。日本語は、そして日本語の語順はこうした立ち止まりながら考えるスタイルを日本人の中に育んだと言えます。このような思考方法が相手を尊重し配慮する文化をも育んだと思うのです。だから日本語には曖昧な表現、間接的な表現、謙遜する表現が多いのだと。その曖昧さの中にこそ相手をおもんばかる日本人の姿勢があるのだとを感じるのです。

「すみません」という言葉にはいろいろな意味があります。使われるときや場面で意味が変わります。謝罪であり感謝であり、依頼であったりするのです。すごくいいですね。最近私が好きな言葉は「大丈夫」です。元来この言葉は問題ない、心配ない、しっかりしているといった意味で使用されていましたが、最近の若者は必要ないとか要らないという文脈でも使います。息子と話をしていて私が「これ食べる？」と聞くと「大丈夫」と。「要らない」という意味です。「要らない」と言うより「大丈夫です」と言った方が柔らかくて相手に配慮した表現になりますよね。

グローバル生には英語を学び、身に着けて外国に出て行っても、日本語から学んだ日本人としての誇り、態度、そして日本人の持つ素晴らしい精神性を忘れて欲しくありません。世界中の人々に日本人の思考方法やその意味を伝える存在になって欲しいですね。

ある新入生の話です。その子は幼稚園の先生方から多動や脱走癖のことを心配されてグローバルスクールに入学して来ました。入学当初は多少その兆候は見られました。何か嫌なことや上手くいかないことがあると「面倒くさい」と言って周りの言うことを遮断してしまいます。一度だけ彼が学校から逃げ出そうとして泣き叫びながら走り出したことがありました。私が走って彼を止め、抱きかかえて教室まで連れ戻しました。しばらく泣きわめいていましたが、落ち着いてきた時に、泣いても何の解決につながらないことを言って聞かせました。それより少し前に「面倒くさい」と言わないことも約束させていました。

その出来事のあと、彼は一切「面倒くさい」と言いませんし、泣き叫ぶようなこともありません。元々理数系の論理的思考に優れた児童だったので腑に落ちたんだと思います。英語の先生がその児童のレゴブロックの作品がすごいと教えてくれました。錠と鍵を作ったものだったのですが、それが本当に素晴らしくて。YouTubeか何かで似たようなものを観てレゴで再現したとお母さんに教えてもらいました。絵も実に上手いんです。おそらく空間認知能力が高く、物事を多面的、多角的に捉えることが得意なんでしょう。

以前このコラムで書いたスケルトンのエレベーターの前から動かなくなる児童に通じる才能があるのでしょうか。すくすくと育てて欲しいですね。

SCHEDULE

【世田谷校】7月の主な予定

- 7月7日(月) 農業実習
- 7月12日(土) プログラミング発表会(芦花園舎11時)
- 7月14日(月) 金融
- 7月18日(金) 終業式

【有明校】7月の主な予定

- 7月7日(月) 金融
- 7月12日(土) プログラミング発表会(芦花園舎11時)
- 7月14日(月) 農業実習
- 7月18日(金) 終業式

